

経営比較分析表／団体全体（令和元年度決算）

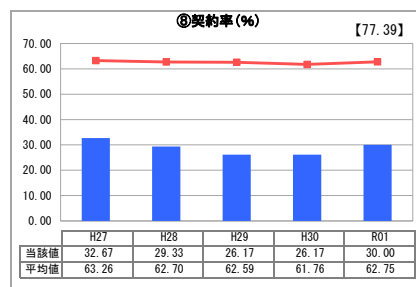
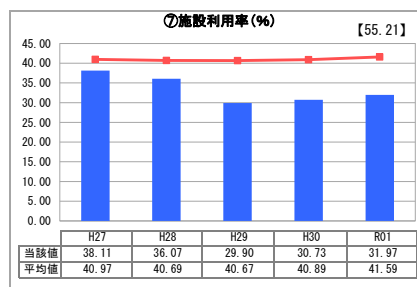
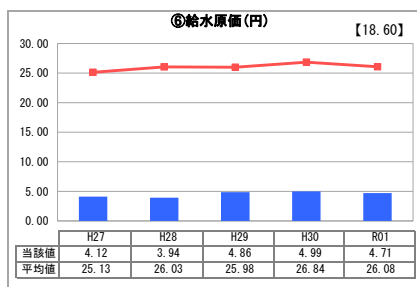
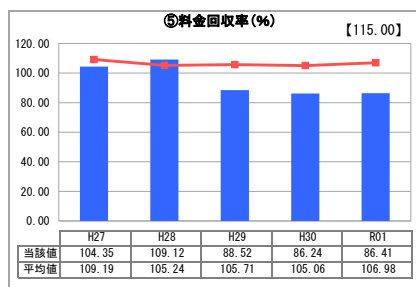
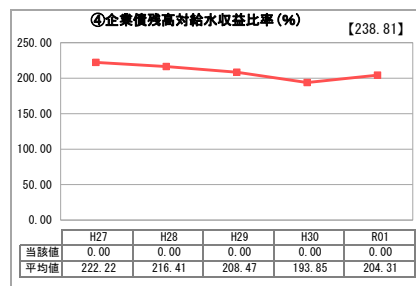
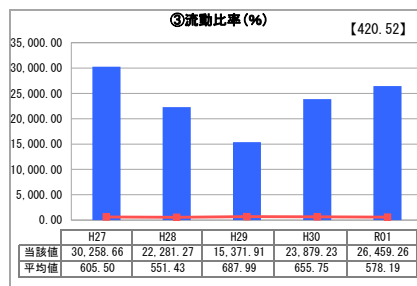
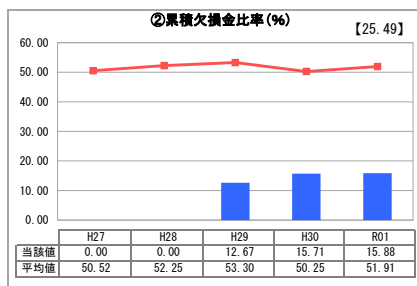
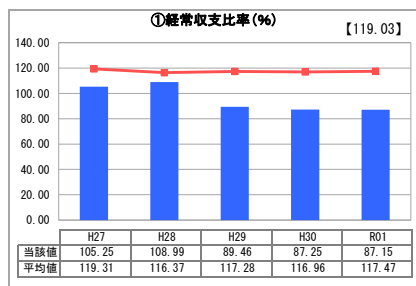
富山県 高岡市
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	60,000	中規模	1	19,180
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	95.0	3	18,000	自治体職員	

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

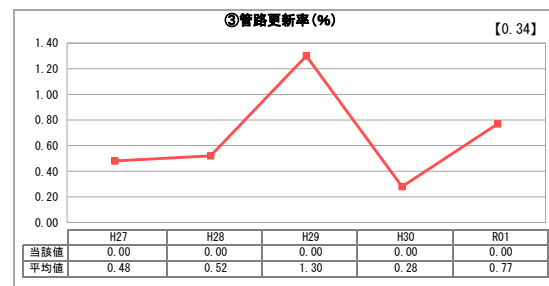
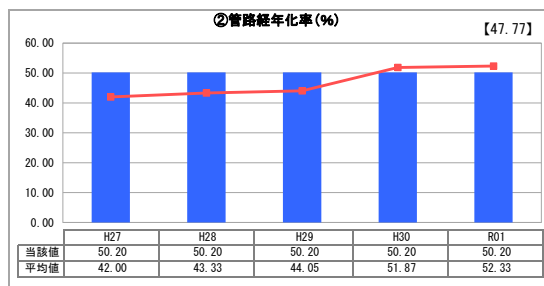
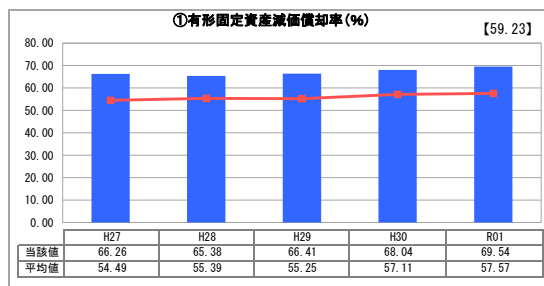
1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率及び⑤ 料金回収率は、供給水量の増量に伴い給水収益が増加した一方、動力費などの費用が増加したため、100%を下回る状況にあり、今後、料金水準の見直しなど経営基盤の強化を図る必要がある。
- ② 累積欠損金比率は全国平均を下回っているものの、3年連続で累積欠損金を計上するなど経営状況が悪化していることを示している。
- ③ 流動比率は一年以内の短期債務に対して十分な支払能力がある。
- ④ 企業債残高対給水収益比率は企業債残高が少なく良好な状況である。
- ⑥ 給水原価は供給単価を上回っていることから、さらなる経費節減や供給単価の見直しが必要である。
- ⑦ 施設利用率や⑧ 契約率は、供給先事業者における水のリサイクル化などにより、水需要が減少しており、全国・類似団体平均を下回っている。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は、年々上昇傾向で推移しており、施設の老朽化が進行していることを示している。
- ② 管路更新率は、法定耐用年数を超えた管路は存在するが、更新に至っていない。今後、事業運営の在り方を踏まえて検討していく必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

- ・ 経常収支比率や料金回収率が100%を下回っており、経営状況は健全であるとは言えない。収支不足については、利益積立金を取り崩し補填している状況であり、今後、料金水準の見直し、さらには、事業運営の在り方について検討していく必要がある。
- ・ 令和3年度に本市の経営戦略である「高岡市上下水道ビジョン」を前期事業目標の達成度など進捗状況を確認するなか、令和4年度から始まる後期に向けて計画の見直しを行う。